

アウシュヴィッツ解放 70 年記念 映画「SHOAH ショア」上映会&シンポジウム開催

1/27
(火)

国連大学にて

◆取材ご検討のお願い◆

1 月 27 日は、国連が定めた「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」です。アウシュヴィッツ収容所解放 70 年の今年 1 月 27 日、最後の世代である生還者たち 250 名が集う、もっとも重要な意味をもつ記念式典がアウシュヴィッツの地で行われます。同博物館のツィヴィンスキ館長は、この日を共に記念してほしいと世界各地に呼びかけています。ホロコーストの最大規模の虐殺の地・アウシュヴィッツは、全人類にとっての負の遺産です。「この虐殺を可能にしたのは、驚くほど簡単なものだった。社会不安と、ほんの少しの民衆扇動、想像上の敵、そして一瞬の衝動」と同館長は言います。日本においても、この悲劇の記憶にふれて、人間の差別や偏見をふりかえり、未来を考えるため、「ホロコースト記憶の国際デー2015 in 東京」を開催することにいたします。

第一部では、2 月 14 日に劇場公開されるドキュメンタリー映画「SHOAH ショア」(第 1 部)を上映します。第二部は、日本でホロコースト教育を実践するパネリストを囲んでシンポジウムを行います。いまを生きる私たちが、この日本で、ホロコーストを知る意味とは? 70 年後の世界で、この日、私たちは何を感じるのか。国連をはじめ世界各地でホロコーストに関する記念行事が行われるこの日、日本でも本事業を開催いたしますことを広く国内外にアピールしたいと思います。つきましては、ぜひとも取材をご検討いただきたく、お願い申し上げます。

- 日時 2015 年 1 月 27 日(火)
【第 1 部】午前 10 時～午後 12 時 【第 2 部】午後 1 時半～3 時半
- 会場 国連大学 12 階 会議室 (東京都渋谷区神宮前 5-53-70)
- プログラム 【第 1 部】映画「SHOAH ショア」第一部上映
【第 2 部】シンポジウム
- 登壇者 ○大塚信 ホロコースト記念館館長
○高橋健司 鳥取大学地域学部地域教育学科准教授
○石岡史子 NPO 法人ホロコースト教育資料センター代表
- 参加費 無料
- 対象 60 名 (大学生、一般) *申込多数いただき 1/13 に参加申込受付を締め切る予定です
- 主催 NPO 法人ホロコースト教育資料センター(愛称 Kokoro)
- 協力 ホロコースト記念館、マーメイドフィルム
- 後援 国連大学、イスラエル大使館、駐日英国大使館、ブルガリア共和国大使館、在日フランス大使館、ドイツ連邦共和国大使館、ハンガリー共和国大使館、オランダ大使館、駐日ポーランド共和国大使館、スウェーデン大使館、アンスティテュ・フランセ日本、外務省、新宿区教育委員会
- 公式サイト <http://npokokoro.wix.com/auschwitz70>

☆当日会場で、日本にゆかりのあるホロコーストの遺品を展示します。
パネル展「一冊のパスポート」/ユダヤ人差別のパスポート/ダビデの星/ハンナのかばん

お問い合わせは、NPO 法人ホロコースト教育資料センター(石岡)までお願いします。
TEL:03-5363-4808(事務所)、090-4072-4402(携帯) Email: holocaust@tokyo.email.ne.jp
〒160-0015 東京都新宿区大京町 22-1 HAKUYOH ビル 6 階

映画「SHOAH ショア」または 2/14 より公開クロード・ランズマン監督作品のお問い合わせは
VALERIA 小倉聖子まで。電話 090-6541-6903 Email: valeria@coast.ocn.ne.jp

☆当日取材をご予定の媒体様は 1/25(日)までにご一報いただけますと幸いです☆